



本社・工場

第64期

# 第2四半期決算のご報告

平成27年8月21日～平成28年2月20日



 福島印刷株式会社

〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地  
TEL (076) 267-5111(代) FAX (076) 267-8065  
URL <http://www.fuku.co.jp/>

福島印刷株式会社

証券コード 7870

# 株主のみなさまへ



代表取締役社長 <sup>しもはた</sup> 下島 <sup>まなぶ</sup> 学

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

ここに、第64期第2四半期累計期間（平成27年8月21日から平成28年2月20日まで）の営業の概況についてご報告申し上げます。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、前年度からの政府の経済政策や金融緩和策等により緩やかな回復基調で推移してまいりましたが、株価下落によるマインドの悪化や不安定な海外経済の動向も相まって、依然として先行き不透明な状況が続いております。

印刷業界におきましても、Web化等による需要の減少、競争激化による受注価格下落の影響を受け、引き続き厳しい状況が続いております。

このような状況のもと、当社はビジネスフォーム等印刷物及びマイナンバー制度等社会制度改革に対応するDP（データプリント）サービスの開発や充実、販売マネジメントの強化による創注や原価構造改善に積極的に取り

組んでまいりました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は31億10百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益は1億38百万円（前年同四半期比438.3%増）、経常利益は1億40百万円（前年同四半期比424.2%増）、四半期純利益は90百万円（前年同四半期比580.9%増）の増収増益となりました。

今後の見通しにつきましては、わが国経済は景気の回復基調が続き、個人消費が持ち直すことが期待されますが、マイナス金利の導入、円高、株安といった金融資本市場の動向や中国経済など新興国経済の経済状況が懸念されるなど、景気の先行きは予断を許しません。

当社としては、引続き最新鋭の印刷機等設備の導入により生産体制の強化を図るとともに、本年2月稼働を開始した「さいたまサテライト工場」の有効活用や、独自技術によるDP（データプリント）を中心としたサービス強化を図

りながら、顧客のBPO（ビジネスプロセスアウトソーシング）ニーズの取り込み推進や、品質保証と情報セキュリティ体制についてもより一層強化することで、業績の向上を図る所存であります。

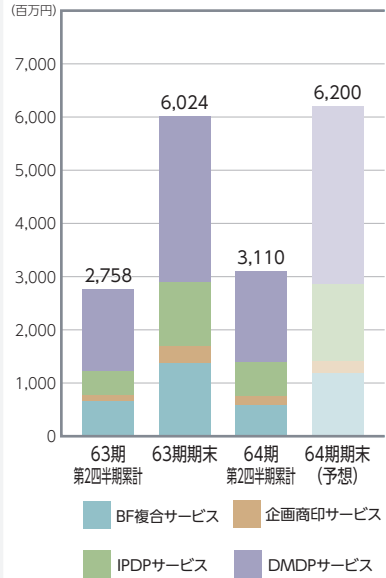
なお、通期の業績予想につきましては、売上高62億円、営業利益2億17百万円、経常利益2億23百万円、当期純利益71百万円と見込んでおります。

また、中間配当につきましては、平成28年3月25日開催の取締役会において、1株当たり5円と決議しており、期末配当とあわせて年10円を予定しております。

株主のみなさまにおかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

# 製品分野別売上高

## 製品分野別売上高



### 福島印刷の

### 4分野による複合サービスの実現

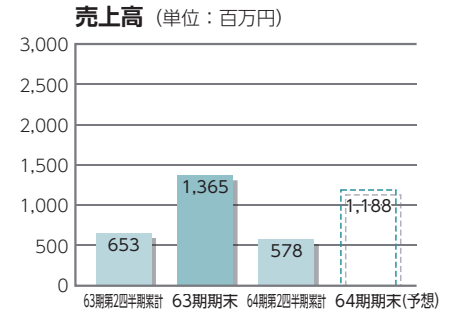
当社は情報発信のパートナーとして、「コミュニケーション エイジェント」という新しいビジネスモデルを目指しています。お客様の情報発信は多様で、その手段、ツールにも様々な選択肢があります。そこからお客様視点に立ち多様な可能性を求めて、4つのサービス形態を整備拡張しています。

## BF(ビジネスフォーム)複合サービス

- コンピュータ用帳票
- 一般帳票
- シール・ラベル など



BF複合サービスは、コンピュータ用帳票に代表される機械加工を伴った帳票印刷分野です。Web化の進展に加え、企業の経費削減による需要量の減少傾向が続いていることから、売上高は前年同四半期を74百万円(11.5%)下回る5億78百万円となりました。

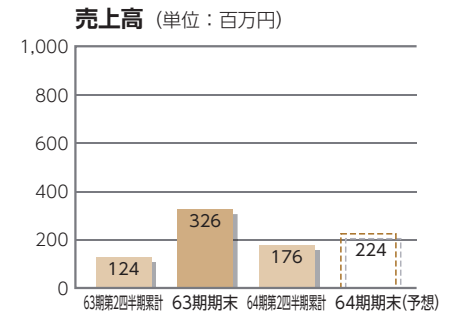


## 企画商印サービス

- 広告宣伝用印刷
- ディスクロージャー関連印刷
- マニュアル印刷 など



企画商印サービスは、パンフレットやカタログに代表されるビジュアル印刷物の分野です。同業者間での価格競争が激しさを増すなど厳しい受注環境が続いておりますが、流通業界を中心に大型キャンペーン関連企画商材の受注が好調に推移、売上高は前年同四半期を51百万円(41.5%)上回る1億76百万円となりました。

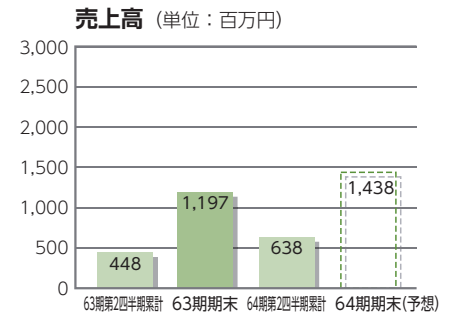


## IPDP(インフォメーションプロセッシング データプリント)サービス

- 事務通信処理受託
- 帳票出力処理 など



IPDPサービスは、企業が定期的に発送する請求書や官公庁が住民に発送する各種通知書など、事務通知書類のデータプリントから、封入封緘などの後処理、メール発送までを代行するサービス分野です。地方自治体や金融機関、SIer、一般企業からの受注が順調に推移、マイナンバー収集通知物の受注もあり、売上高は前年同四半期を1億90百万円(42.4%)上回る6億38百万円となりました。

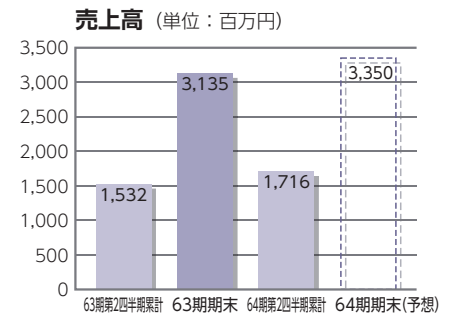


## DMDP(ダイレクトメールデータプリント)サービス

- ダイレクトメール
- ダイレクトメール処理受託 など



DMDPサービスは、お客様の顧客データベースが進化するなかで、有力な販促物を提供するサービス分野として発展しました。IPDPサービス同様徹底したセキュリティ環境のもと、お客様目線での企画提案により大口顧客でのポジションアップが進み、売上高は前年同四半期を1億84百万円(12.1%)上回る17億16百万円となりました。



# 当社「ならでは」の取り組み

## さいたまサテライト稼働開始



最新鋭高精細インクジェット印刷機が設置されたさいたまサテライト

## ■福島印刷、廣濟堂両社の事業最適化を目指す設備シェア

2016年2月1日より、株式会社廣濟堂さいたま工場内にてサテライト工場、「さいたまサテライト」の稼働を開始しました。当社と廣濟堂両社の保有するリソースを効率的に活用し合い、コストとリスクを低減させ競争力強化につなげる事業最適化システム「シェアモデル・マネジメント」を実施するもので、当社は製造拠点複数化によるBCP(事業継続計画)リスクの解消と同時に、首都圏のお客様向けの製造・出荷拠点として活用、廣濟堂は出版印刷や商業印刷の営業領域の拡大を、また両社のシナジーで、高品位デジタル印刷にITソリューション機能を融合させた新たなビジネスモデルの構築を目指しております。

## ■シェア利用でのセキュリティ体制

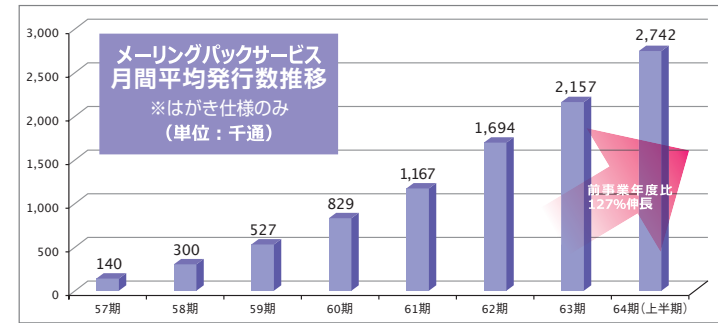
さいたまサテライトでは、個人情報を取り扱うインクジェット印刷機をシェア利用します。市場からの要請、なかでもマイナンバー制度などの社会制度改革やICTサービスの急速な進展に伴う高度なセキュリティ体制の要請に応えるため、通信系、データ処理系、生産フロアなどを時間分割し独立管理するシステムとルール体系(シェアポリシー)を導入し、高い安全性と効率性を実現します。

本社工場と同様に生産フロア全体の入退管理、また加工用お客様データへは両社が相互にアクセスできないネットワーク分離体制、機械利用時間設定により各業務の分離を行っています。監視カメラ及び作業記録カメラにより、問題発生時のトレース体制も維持しております。

## ■「メーリングバックサービス」、本社工場とさいたまサテライトの2拠点で

メーリングバックサービスは、当社独自のデジタル処理技術により「はがき」「封書」「大判」の仕様で複数企画・複数会社の通知物を取りまとめ、パックとして印刷・加工する当社ならではのサービスです。

小ロットでも大量発送と変わらない低コストでの提供が可能で、小ロット・多頻度のDMや通知物のニーズにお応えしております。当事業年度第2四半期までの月間発行数は平均274万通(「はがき」仕様のみ)に達しました。2016年2月よりさいたまサテライトでの製造も始まり、主要サービスの生産複数拠点化を実現しております。



## 人材育成の取り組み

### ■ITスキル強化のための教育投資 ～学び、活かし、さらに学ぶサイクルの定着化

データプリントサービスの成長を背景に、ITスキル強化を目指し2012年4月より開始した教育投資制度は、ベース資格と定めた「ITパスポート試験」の社員合格者が150名を超え(2016年2月時点。社員取得率38.7%)、高度情報処理技術者試験合格者も20名を超えました。

また、IT系資格に留まらず、業務への活用が見込める資格も制度の対象にしています。通販業界について広く学び、販売やものづくりに活かすことを目的とした「通販エキスパート検定」(一般社団法人 通販エキスパート協会)の合格者はのべ67名まで増加し、最上位級の1級にも6名が合格しています。日商簿記検定の受験・合格者も増えており、学びの継続サイクルが定着してきています。



当社Webの「新たな教育投資」ページでも情報処理技術者試験の合格者数を公開しています。

# 財務諸表

## ■ 四半期貸借対照表

(平成28年2月20日現在)

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
〔資産の部〕		
流動資産	2,429,481	2,476,403
現金及び預金	692,121	804,943
受取手形及び売掛金	1,113,524	1,153,571
電子記録債権	220,302	191,355
製品	103,968	89,249
仕掛品	136,432	73,806
原材料及び貯蔵品	70,754	66,130
繰延税金資産	43,730	67,055
その他	51,016	32,662
貸倒引当金	△2,371	△2,371
固定資産	4,011,621	3,921,753
有形固定資産	3,783,646	3,615,403
建物	1,289,663	1,327,624
機械及び装置	573,846	539,047
土地	965,106	965,106
リース資産	791,436	667,929
その他	163,592	115,695
無形固定資産	106,851	112,107
投資その他の資産	121,124	194,242
資産合計	6,441,103	6,398,156

単位:千円

科目	当第2四半期 会計期間末	前事業年度末
〔負債の部〕		
流動負債	1,529,473	1,611,825
買掛金	242,475	250,971
短期借入金	619,400	599,400
リース債務	220,617	232,204
未払法人税等	45,349	66,203
その他	401,631	463,045
固定負債	745,401	629,785
長期借入金	43,050	55,300
リース債務	652,477	512,775
その他	49,873	61,709
負債合計	2,274,875	2,241,611
〔純資産の部〕		
株主資本	4,154,835	4,106,096
資本金	460,000	460,000
資本剰余金	285,200	285,200
利益剰余金	3,409,748	3,361,009
自己株式	△112	△112
評価・換算差額等	11,392	50,449
その他有価証券評価差額金	11,392	50,449
純資産合計	4,166,227	4,156,545
負債純資産合計	6,441,103	6,398,156

(記載金額は千円未満切捨)

## ■ 四半期損益計算書

(平成27年8月21日から平成28年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
売上高	3,110,037	2,758,355
売上原価	2,309,422	2,094,082
売上総利益	800,614	664,272
販売費及び一般管理費	661,746	638,475
営業利益	138,868	25,797
営業外収益	9,831	9,041
受取利息	40	36
受取配当金	1,005	745
作業くず売却益	6,836	5,791
その他	1,948	2,468
営業外費用	7,942	7,986
支払利息	7,942	7,986
経常利益	140,756	26,853
特別利益	350	-
固定資産売却益	350	-
特別損失	118	855
固定資産除却損	64	855
有価証券評価損	53	-
税引前四半期純利益	140,987	25,997
法人税、住民税及び事業税	36,700	6,500
法人税等調整額	13,551	6,172
四半期純利益	90,736	13,325

(記載金額は千円未満切捨)

## ■ 四半期キャッシュ・フロー計算書

(平成27年8月21日から平成28年2月20日まで) 単位:千円

科目	当第2四半期 累計期間	前第2四半期 累計期間
営業活動によるキャッシュ・フロー	226,169	131,979
投資活動によるキャッシュ・フロー	△127,011	△200,015
財務活動によるキャッシュ・フロー	△161,479	△122,350
現金及び現金同等物の増減額	△62,321	△190,386
現金及び現金同等物の期首残高	707,643	610,101
現金及び現金同等物の 四半期末残高	645,321	419,715

(記載金額は千円未満切捨)

# 会社情報



(前列左より) 館、福島、下島、松谷  
(後列左より) 山崎、岩木、加藤

## 役員 (平成28年4月26日現在)

代表取締役会長	ふくしまちお 福島理夫	常勤監査役	かとうかずや 加藤一弥
代表取締役社長	しもはたまなぶ 下島学	監査役	いわひろ 岩木弘
取締役	たちよしあき 館芳昭	監査役	やまぎしゅうじ 山崎修二
取締役	まつたかにゆたか 松谷裕		

## 会社の概要

商号	福島印刷株式会社
英文名	FUKUSHIMA PRINTING CO.,LTD.
本店所在地	〒920-0357 金沢市佐奇森町ル6番地 TEL (076) 267-5111 (代)
設立	昭和27年9月10日
資本金	4億6,000万円
従業員数	387名
事業所	本社及び工場 金沢市佐奇森町ル6番地 東京営業部 東京都千代田区鍛冶町1丁目5番7号 江原ビルディング9F 西日本営業部 大阪市淀川区宮原5丁目1番28号 新大阪八千代ビル別館8F 富山営業所 富山市上袋708番地1 福井営業所 福井市和田東2丁目1718番地 さいたまサテライト さいたま市桜区町谷1-4-1 株式会社廣済堂さいたま工場内

# 株式についてのご案内

事業年度 8月21日から翌年8月20日まで  
 定時株主総会 11月  
 基準日 定時株主総会 8月20日  
 期末配当 8月20日  
 中間配当 2月20日  
 その他必要があるときは、予め公告して定めた日

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 三井住友信託銀行株式会社  
 特別口座の 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号  
 口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社  
 郵便物送付先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)  
 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

●住所変更、単元未満株式の買取等のお申出先について  
 株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
 なお、証券会社等に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

●未払配当金の支払について  
 株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

単元株式数 100株  
 上場証券取引所 名古屋証券取引所  
 公告方法 電子公告により当社ホームページ (<http://www.fuku.co.jp/>) に掲載いたします。

ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合の公告方法は、日本経済新聞に掲載する方法とします。

株主優待制度 8月20日基準日現在、1,000株以上の株主を対象に、自社指定の株主優待を、ご希望に応じてお選びいただけます。

## 平成27年優待品



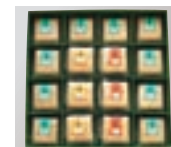
金沢五郎島金時



四十萬谷 特選話合せ



烏骨鶏かすていら  
2本入



「不室屋」  
ふやし御汁セット



ざぶん賞へ寄付